

## 地域の知的好奇心と交流の拠点に

埼玉県立歴史と民俗の博物館長 小澤 健史

この4月1日付けで埼玉県立歴史と民俗の博物館長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。私は、前2代の館長と異なり、一般行政職として埼玉県職員になりました。これまでの約30年を県庁の中にある教育委員会事務局で過ごし、主に政策、人事など管理部門の仕事を担当しておりました。博物館勤務は今回が初めてです。

一方、個人的には博物館、美術館巡りが好きで、当館をはじめとする県内博物館はもちろのこと、上野周辺をぶらぶら歩いている、東京国立博物館辺りでゆったりとした時間を過ごすことを趣味としておりました。今度は、博物館運営が仕事となりましたので、身の引き締まる思いをしております。

さて、平成30年12月21日付けで、国の中央教育審議会から「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の答申がありました。その中では、今後の「博物館」に求められる役割の一つとして、「地域住民はもとより、国内・国外の多くの人々が知的好奇心を満たしつつ広く交流することのできる場としての役割を強化することが期待される」と言及されています。今年の「ラグビーワールドカップ2019」や来年の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催もあり、観光振興や国際交流の拠点としての役割が期待されています。多くの外国人観光客に「埼玉県の素晴らしさ」を知ってもらうこと、異文化に触れて満足していただくことはとても大切です。そのため、当館としても知恵を絞らなければならないと思っています。

その一方で、これまでも、また、これからも重要なのは、やはり地域の皆様の知的好奇心と交流の拠点としての機能です。多くの方々が、個人の主体的な学びを出発点として、学びや成果発表を通じて周囲とつながり、地域での活動などを経て、さらなる学びに発展させていく循環が大切だと思います。

友の会の目的として、①会員相互の知識向上を図り親睦を深める、②博物館の事業発展に寄与する、③地域社会の文化発展に貢献すると規定していただいております。その規定どおり、当館の機能を活用して、会員の皆様の知的好奇心を満たしていただき、ネットワークをつくって繋がっていただく。そして新たな学びにつなげていただければ幸いです。一方で、当館の大切な応援団の役割も引き続き担っていただき、WIN-WINの関係をお願いできたらと思います。

この「埼玉県立歴史と民俗の博物館」の名前と活動をより多くの県民に方々に知っていただけるように努力してまいりますので、ご支援ご協力のほど、よろしくお願申し上げます。

## 今後のイベントスケジュール

\*申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いします。

ホームページ:<http://junosaitama.net/> ブログ:<http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- |            |                               |         |
|------------|-------------------------------|---------|
| ○5月16日 (木) | 第1回/円空仏研究会の集い                 | <前号で紹介> |
| ○5月18日 (土) | 古道探索倶楽部「日光街道あるき その1」          | <前号で紹介> |
| ○5月18日 (土) | 古代文化を考える会                     | <前号で紹介> |
| ○5月25日 (土) | 友の会総会・講演会                     | <前号で紹介> |
| ○6月13日 (木) | 見学会「下総国分寺・国府跡・松戸戸定邸・祖師堂 五重塔他」 | <今号で紹介> |
| ○6月22日 (土) | 古道探索倶楽部「第29回古道を訪ねて 日光道中その 2」  | <今号で紹介> |

## 講演会「蘇我氏の興亡」

平成31年(2019)3月16日に開催 182名が参加

『古事記』孝元段によれば、蘇我石河宿禰が蘇我氏の始祖の位置にあるが、これは後の石川氏が持ち出したもので問題があるという。蘇我氏は地名系の氏であり、その本拠地は大和国高市郡曾我(奈良県橿原市曾我町)で、渡来系とは考えにくいという。蘇我稲目が『日本書紀』に登場するのは宣化天皇の時代であり、馬子・蝦夷・入鹿と続く本宗家は「乙巳の変」において滅亡する。しかし滅亡したのは本宗家だけで、「傍系」は改新政権の群臣として活躍し8世紀にはいっても「蘇我」から改姓した「石川」氏が律令官人として活躍する。今回は、吉村武彦先生に、こうした蘇我氏の興亡を、①蘇我氏が誕生した6世紀初め以降の系譜、②蘇我氏の本拠と諸族、③稲目以降の蘇我氏4代の支配の特徴、④何故蘇我氏は滅び、藤原氏は栄えたのか。入れ代わりに活躍する藤原氏との違いは何だったのか—という点から1時間半たっぷりとお話しいただいた。



主眼は上記④で、両者を分けたものは「(1) 背景として決定的に違うのは律令の存在。(2) 蘇我氏が貴族として存在できたのは、蘇我氏自身の政治力によるもの。別に制度的権限があったわけではない。外戚の立場を政治的に利用した点は両者とも同じ。(3) 藤原氏は律令法の中に、非常に有利に運用できる蔭位制(父祖の位に応じて、子孫を一定の位階に就ける特権)を導入することによって、制度的に貴族として再生産できるメカニズム作ったこと。」であると、熱く語られた。

蘇我氏は開明的な氏族ではあったが、必ずしも古い守旧的な殻を打ち破れなかった面があったようである。蘇我氏に対する関心は高く、当日の会場は大入り満員の大盛況であった。また講演内容も大変濃いものであった。(斉藤亨 記)

## 春風の吹く下野栃木と常陸結城のバス見学会

平成31年(2019)3月27日(水)に開催 参加者42名



栃木、結城の見学会、2つとも2班体制で見学しました。午前中は栃木市・蔵の街の見学で、「蔵の街美術館」、「山車会館」、「巴波川の鯉流し」、「栃木のお伊勢さん・神明宮」、「近龍寺(文豪山本有三の墓あり)」などを見学しました。昼食は栃木市の太平山(345m)中腹の『あじさい庵』で、名物の“卵焼き・焼き鳥・団子つきそば定食”を食べましたが大好評でした。

その後山頂の太平山神社を自由参拝しましたが、827年慈覚大師円仁創建と言われる古社で、古来から「天下太平を祈る社」として今も信仰されています。

午後は結城市に移動し、「結城蔵美館」、「つむぎの館」「結城酒造」、「称名寺」、「健田須賀神社」、「結城観光物産センター」など見学しました。太平山の桜はまだ一分咲きでしたが、栃木の巴波川約600mに渡って泳ぐ千匹余りの鯉流しや、結城酒造での試飲・お買い物など大変楽しい見学会でした。(山口 記)。

## 講演会「海の正倉院・沖ノ島」

平成31年(2019)4月21日に開催 182が参加

玄界灘に浮かぶ沖ノ島はどの陸地からも50km離れた孤島として存在し、神の島、不言様ともいわれ、島内には国宝だけでも8万点余の遺品があります。そこには4世紀後半からの古代祭祀の原風景が「手つかず」の形で残されています。朝鮮半島との交流において「海ノ中道」としてある沖ノ島における祭祀はいったい何を意味していたのでしょうか。

今回は、この沖ノ島にたびたびおもむき、長年にわたり調査活動が続けてこられた椛山林繼先生に、自ら撮影の貴重なスライド映像と共にお話しを伺いました。会場は満員となり、講演の始めには沖ノ島のビデオ映像もながされました。



### クラブ活動 (募集案内)

## ◆第29回古道を訪ねて 日光道中その 2◆

《日時》2019年(令和元年)6月22日(土) 9時30分~15時30分(予定)

《集合》東武伊勢崎線草加駅改札口周辺 9:30

《コース》東武伊勢崎線草加駅⇒草加神社⇒高砂八幡神社⇒藤城家⇒資料館⇒東福寺⇒甚左衛門堰⇒草加松原⇒蒲生一里塚⇒地蔵院⇒清蔵院⇒照蓮院⇒東武伊勢崎線越谷駅

《費用》資料代等・参加費 300円

《その他》歩行距離は約11kmで、史跡巡りをいれると12km少々。お弁当と飲物は必ず事前に御用願います。

《問合せ先》前日まで犬走(いぬばしり) 048-756-5634 当日 小俣(おまた) 090-3436-9017

《参加申込み》6月14日(金)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して 〒339-0058さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて

\*新シリーズ日光道中歴史散策は、東武伊勢崎線竹ノ塚駅より栗橋駅までを8回シリーズにしてお届けいたします。

### <友の会からのお知らせ> ホームページからの参加申し込みについて

現在、講演会・見学会・クラブ活動などの申し込みのとき、友の会ホームページ上に「送信フォーム」がある場合には、ここから直接申し込みができます。5月の申込から、自動的に「登録番号」が表示される機能をつけました。申し込みしたかどうかの確認もネットからできます。



申込フォーム

\*スマホでもできます

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会への連絡ありがとうございました。送信は正常に終了しました。  
この情報がイベント参加の際に必要です。プリントしてご持参ください。

□送信した情報: 登録番号: 10043 山田太郎(11-003) 2019-05-25の総会に参加します。 2019/05/07 04:27:46

■送信者名: 山田太郎 11-003  
■登録番号: 10043  
■送信内容: 2019-05-25の総会に参加します。  
■連絡事項:  
■送信日時: 2019年05月07日 04時27分46秒

- ・フォームから送信すると、上の図のように、自分のネット画面に登録番号(重複しない連番)が表示されます。この番号がイベント参加の申込書になりますので、プリント(あるいはメモ)して受講時にお持ちください。Eメールでのやりとりはありません。
- ・この登録番号は、友の会ホームページの中にある「友の会への申込状況」からいつでも確認できますので、送信したどうかなどで迷った場合に判断ができます。



埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会見学会

遺跡ウォッチング

# 下総国分寺・国府跡

お宝ウォッチング 国指定重要文化財

旧水戸徳川家別邸

日蓮宗大本山 中山法華経寺

## 松戸戸定邸 祖師堂 五重塔他

古代下総国の国府と国分寺は台地の先端に近接して建立され「下総京」を構成していました。近年の数々の発掘調査から得られた新知見をもとに遺跡を辿ります。現地を歩く前に市川市立考古博で永年調査に携わられた山路直充氏にガイダンスをお願いしています。また遺跡ウォッチの前後に文化財探訪も組み込みました。松戸戸定邸は明治前期の上流住宅の指標となる貴重な建築物です。中山法華経寺は近世初頭に整備された大伽藍が今に引き継がれる古刹です。両所とも地元ボランティアガイドに案内をお願いしました。昼食は道の駅いちかわにあるレストラン「トラットリア アル ポンテ」を予約しています。初夏の一日歴史ロマンに親しみましょう。奮ってのご参加お待ちしております。

行程 大宮ー松戸・戸定が丘歴史公園（歴史館ー庭園ー戸定邸）ー市川市立考古博（古代下総についてのミニ講座あり）ー昼食（道の駅いちかわ）ー北下遺跡ー下総国分寺ー国分尼寺跡ー下総総社跡ー下総国衙跡（和洋女子大構内）ー和洋女子大資料館（17階遺跡の全貌が俯瞰できます）ー以上徒歩約3Kー中山法華経寺ー大宮（18時予定）

**日時** 令和元年6月13日（木） 雨天実施  
**集合時間** 午前8時20分（時間厳守）  
**集合場所** JR大宮駅西口・大宮ソニックビル西側  
**参加費** 6,500円（昼食代含む）

- ★ご参加の申込は 往復はがきに見学会名（略称ー6月見学会）・住所・氏名・会員番号・ご連絡先を明記の上、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 宛 お送り下さい
- ★「友の会ホームページ」にある「申込フォーム」からでも参加申込出来ます
- ★締切5月31日（金）必着 ★定員35名 満席次第締切
- ★会員限定ですがご家族、友人は同伴参加できます。座席希望あれば明記の事

### 注意事項

- ★途中3キロ程歩きます。足元をしっかりとってご参加ください。
- 見学会に関するお問い合わせと当日緊急連絡先 090-2404-9553 中村均